

船上の運動会に、赤道通過を祝うお祭り!?
1か月半に及ぶ移民船の航海中の雰囲気を感じることが出来ます。

そうぼう
蒼氓 三部作

石川達三・著

1939年 新潮社

夢のブラジルに向かう船の中で、人々は何を考え、どう過ごしていたのか——。日本出発からブラジル到着までを描いた、移住者たち一人一人の物語。第一部『蒼氓』は第一回芥川賞受賞。

1920年まで行われていた「写真花嫁」について、彼女たちのリアルな生活や感情を垣間見られる一冊です。

写真花嫁

ヨシコ・ウチダ・著 中山庸子・訳

1990年 学芸書林

20世紀はじめ、夫となる人の写真だけを頼りに、海を越えてアメリカに嫁いでいった日本の女性、ハナ。彼女は何を夢見て、どんな生活を送ったのか。日系2世の作者によって紡がれる、親子の物語。

ハルとナツ—届かなかった手紙—

橋田壽賀子・著

2005年 NHK出版

日本とブラジルに引き裂かれて生きた、姉・ハルと妹・ナツの70年。お互いに届かなかった手紙からようやく知る、それぞれの人生とは…。

移住先の土地での暮らしがわかる一冊。

この本の元となった、同名のNHKドラマ(2005年)も感涙必至です!!!

ワイルド・ソウル

垣根涼介・著

2003年 幻冬舎

「おっとん、おっかん、仇は取るけえね」。1961年、ブラジルのアマゾンに入植した衛藤一家。アマゾンでの生活は想像以上に過酷なものだった。四十数年の歳月を経て、衛藤に育てられたケイたちが日本政府に対して起こした行動とは…?

アマゾンの地で何が起きていたのか。未開の地で懸命に生きた日本人の様子を知ることが出来ます。

戦争は、移住者とその子孫たちにも暗い影を落としました。日本か、アメリカか。究極の選択を迫られる日系人たちを描いた二冊をご紹介します。

栄光なき凱旋(全二巻)

真保裕一・著

2006年 小学館

“この国のためになら、銃をもって戦える。たとえ相手が日本人であろうと”。戦争という激動の時代を生きた、アメリカに暮らす日系2世の若者3人の物語。真珠湾攻撃によって奪われた平穏な未来を取り戻すため、彼らはそれぞれの戦いへと挑む。

二つの祖国(全三巻)

山崎豊子・著

1983年 新潮社

アメリカで生まれ育った日系2世たち。日米間の戦争という嵐によって身を二つに引き裂かれながらも、愛と祖国を探し求めた日系人の物語。

この物語は1984年・2019年の二度、テレビドラマ化されています。ぜひ映像でもご覧ください!